

教員の養成を通じたエシカル消費の推進

普及・啓発

イベント開催

環境保全

国立大学法人 鳴門教育大学

所在地：徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
沿革：昭和56年創設、昭和59年大学院設立
学科：大学院(学校教育研究科1学科)、大学(学校教育学部1学部)
学生数：大学院535名/大学463名/合計998名
(平成30年11月1日現在)

○事業・活動の概要

これまで鳴門教育大学は、「教師教育のリーダー大学」として、様々な改革に取り組んできた。平成28年7月からは「鳴門教育大学消費者推進プロジェクト」を立ち上げ、多様な主体と連携し、消費者教育の先進拠点として様々な取組を実施している。エシカル消費に関しては、平成30年5月に徳島県が募集する「エシカル消費自主宣言」において、「エシカル消費を教えられる教員の養成」、「地域連携によるエシカル消費の推進」、「エシカル消費に関する調査研究」の3つの取組を通じて、エシカル消費の推進を宣言している。

○地域連携によるエシカル消費の推進

平成29年度に文部科学省の「連携・協働による消費者教育推進事業」における消費者教育推進のための実証的共同研究の採択を受け、徳島県と民間人材との3者協働でワークショップを5回実施した。ワークショップは徳島県を中心に活躍している方を講師に迎え、スーパーの店内を回りながらエシカル消費につながる商品やマークの意味を学ぶクイズラリー等、主に小・中学生のいる親子など一般人を対象に、毎回異なるテーマで実施した。

平成30年度は、徳島県内の生涯学習等の機能を担う徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」本部主催の「オンリーワンとくしま学講座」や「徳島県消費者大学校大学院」、県内各地の中学校・高等学校などにおいてエシカル消費についての講義を実施するなど、外部への普及・啓発活動にも取り組んでいる。

○エシカル消費を教えられる教員の養成

教える立場である教師が、実際にエシカル消費を実践できるようになることが重要だと考えており、消費行動の変容を意識した教育をしている。実践的な取組を多く取り入れることにより、児童・生徒にエシカル消費をしっかりと教えることのできる教員の育成に取り組んでいる。

大学全体では、様々な授業で環境教育、ESD教育、持続可能な社会の形成、地域活性化など、エシカル消費と関連する教育がなされている。ほぼ全ての学部生が履修する初等家庭科の授業では、社会環境、自然環境へ配慮した消費行動としてエシカル消費を学べる講義内容となっている。大学院の共通科目でも講義を実施するなど、履修者の多い授業でエシカル消費を取り上げ、学ぶ機会を幅広く提供している。家庭コースでは学生自身が消費に関するテーマを設定して研究する専門科目授業があり、その中で「エシカル消費」を題材とする学生も多い。

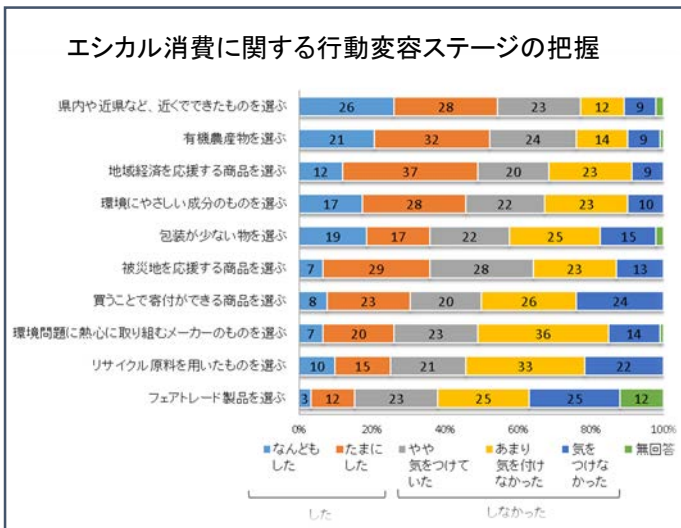
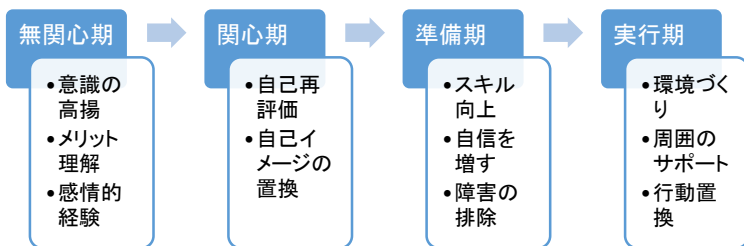
また、附属図書館にはエシカル消費を始め、消費者教育関連図書を多数取りそろえるなど、学生が自発的に学ぶための環境を整えている。エシカル消費に関連するイベントのスタッフとして学生が参加する機会も設けており、より理解を深め、意識を高める有効な取組となっている。



○エシカル消費に関する調査研究

エシカル消費の普及に当たり、無関心層に対しての効果的な周知方法について検討するため、前述するワークショップ実施の際には、参加者に対してエシカル消費に関する意識調査を実施した。エシカル消費に関する行動変容ステージを測る尺度を独自に設定し、行動変容ステージに応じて講座の効果が異なるかなどを検討した。





ワークショップは、エシカル消費の学習を打ち出したものだけでなく、「お金の管理」、「片付け」、「クッキング」など、生活経営を学びながらエシカル消費についても知識を得られる内容のものも実施した。例えば「親子で楽チンお片付け」と称した講座では、片付け方法に関するレクチャーと併せて、ごみ問題や環境問題を取り上げ、参加者自身の消費行動について考えてもらう内容とした。

生活経営、中でも「片づけ」をテーマとした講座は、多くの人の関心を集めることができる。また、物や空間の管理について学ぶことは、消費の在り方を見直す契機となることから、引き続き地域で実施していく予定である。



○大学祭での取組

平成29年度の大学祭では、学生の自主的な取組として、オリジナルのエコバッグ作りを通じた募金活動を実施し、集まった募金を被災地の教育支援を実施しているNPO法人に寄付した。

また、事前の食中毒防止講習会の実施と一緒に、ごみ削減講習会を実施し、当日は露店の使い捨て容器をもらわずに自分で持ってきた食器等を利用する「マイディッシュ&マイカップ」活動と呼び掛けることにより、環境保全にも取り組んでいる。

平成30年度は「エコ取り組みコンテスト」として各コースの学生が「マイディッシュ&マイカップ」活動や「調理器具の各自持ち寄り」、「リユース品の使用」、「ゴミの分別の徹底」など、それぞれ知恵を絞って環境に配慮した大学祭を実施した。



○今後の取組

平成29年度のワークショップの実績や調査結果を踏まえ、平成30年度は地域の団体と連携し、片付けとエシカル消費を組み合わせた高齢者向けの講座を開催するなど、地域とより一層連携したエシカル消費の推進を継続していく予定である。

学生に対するエシカル消費に関する教育も引き続き取り組みつつ、消費者教育全般に強い教師の育成を目指す。

公表日：平成31年2月4日 取材：平成30年7月
 外部リンク：<http://www.naruto-u.ac.jp/>